

東西条地区住民自治協議会だより



「人と歴史が緑を醸す笑顔と交流のまち東西条」

第49号

令和3年3月25日発行

東西条地区住民自治協議会 事務局 TEL/FAX 082-421-2023

地域における支え合い活動の促進に励みます！

春が駆け足でやって来ています。桜や草花がいっせいに咲きはじめています。海・山など風光明媚な広島県は見どころ満載の良い処だと改めて実感します。4月は市役所・会社・学校の年度初め、新しい何かが始まる躍動の月でウキウキします。先月11日は東日本大震災から10年の節目の鎮魂の日でした。災害時に備えて「世代を超えた住民相互のつながりを大切に、助け合う体制」を一層整えてまいります。また東広島市はSDGs未来都市宣言の街でもあり、東西条住民自治協議会も地域社会の課題解決に今後も積極的に取り組んでまいります。今後ともご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

(東西条地区住民自治協議会 会長 景山和彦)



「元気に いちさんすい」を楽しんでいます！

美しい桜のある風景に心が震えるような春です。いちさんすいでは最初の1時間「童謡・歌謡曲」の“歌声”を先生指導で歌います。次の30分から1時間は、百歳体操や手遊び、脳トレゲームを実施しています。先日のうたごえ講座では「早春賦」を歌いました。“春は名のみ風の寒さや 谷の鶯歌は思えど 時にあらずと 声も立てず 時にあらずと 声も立てず” 当住民自治協・福祉部会の事業として、地域住民の健康寿命を延ばす活動をしています。一昨年は「看護小規模多機能型居宅介護 きさか」の交流室で行いましたが、昨年からはコロナウイルス感染症予防のため、東西条地域センターに会場を移して毎月2回休む事なく開催できました。(福祉部会長 原 弘)



「住宅火災に注意！」「まさか、うちが火災に？」

春は火災が発生しやすい時です。火災に「まさか」はありません。「寝る前にもう一度火の元を確認する」住宅用火災報知器や消火器を備えるなど、できるだけ防火対策を実行しておきましょう。子どもたちと一緒に話し合いを、また119番通報も教えておきましょう。屋外での焼却は原則的には禁止されているが、たき火などが原因の火災は毎年発生しています。「焼却禁止の例外」はありますが、消防署への事前の届け出が必要になっています。また指導を受けることもできます。(事務局：折羽)



『東西条地区住民自治協議会だより』・裏面の東西条の歴史シリーズは今月号で終了します！

4月の行事予定

- 4月8日(木) 東西条小学校入学式
- 9日(金) 松賀中学校入学式
- 22日(木) 東西条地区住民自治協・総会
- 23日(金) 吉士実女性会・総会
- 25日(日) 参議院広島県選出議員再選挙



《中川沿いの河津桜》

「極めよう！いきいき体操ひがしひろしま」講座を開催！

3月18日(木) 令和2年度・センター主催講座「極めよう！いきいき体操ひがしひろしま」が開催されました。地元にお住いの渡部和彦先生(広島大学名誉教授)が講師を務めていただき、1つ1つの動きが体のどの部分に、なぜ効果があるのか・科学的な原理等を教えて下さいました。介護予防に取り組む皆様をはじめ、多くの地域住民の方が参加されました。楽しく充実した講義で、効果を感じながら運動を体験することができました。今後の運動に生かされ、自らの健康づくりに役立つ講座となりました。(地域センター長)



交通安全！！東広島市道・土与丸上三永線に4月から可燃ごみ搬入車両が入る！

市街地から西条中央巡回線・消防署の東から松子山にある賀茂環境衛生センターへトラックが、1日約70台往復すれば150台程度通行します。市民の生活道路であり、朝夕は三永方面からの通勤・通学路でもあります。交通事故の多発にならないよう安全対策は要望していますが、皆様も車の事故に巻き込まれないよう注意してください。(総務部会)



Sカーブで先が見えない！ スピード注意 下りで先が見えない！

災害時は避難要支援者へ連絡しよう

災害時に高齢者や身体の不自由な方々を地域でサポートし声を掛け合い一緒に避難して下さい。危険が切迫してから出される「避難指示」の発令で慌てて避難するのではなく「避難勧告」が出た段階で、ご近所の方々と安全を確認しながら所定の避難場所に避難することが命を守る基本です。(避難支援プランより) 避難指示・避難勧告の言葉は変わるかも？

世帯数・事業者数も増加！

東西条小学校区＝東西条住民自治協議会 現在、構成世帯数は2051世帯です。また72先の企業・個人事業者さんから自治協活動に賛同して頂いています。令和3年2月に予定していました「情報交換会・交流会」はコロナ禍の為、延期いたしました。新型コロナウイルス感染者数は減少し、ワクチンの接種も始まりましたが、感染拡大防止の意識を忘れずに活動・生活いたしましょう。自治協活動は可能な形を模索して前向きに進めます。

広島大学総合博物館
特任教授 藤野次史

東西条郷土の歴史探索・丸山神社古墳群

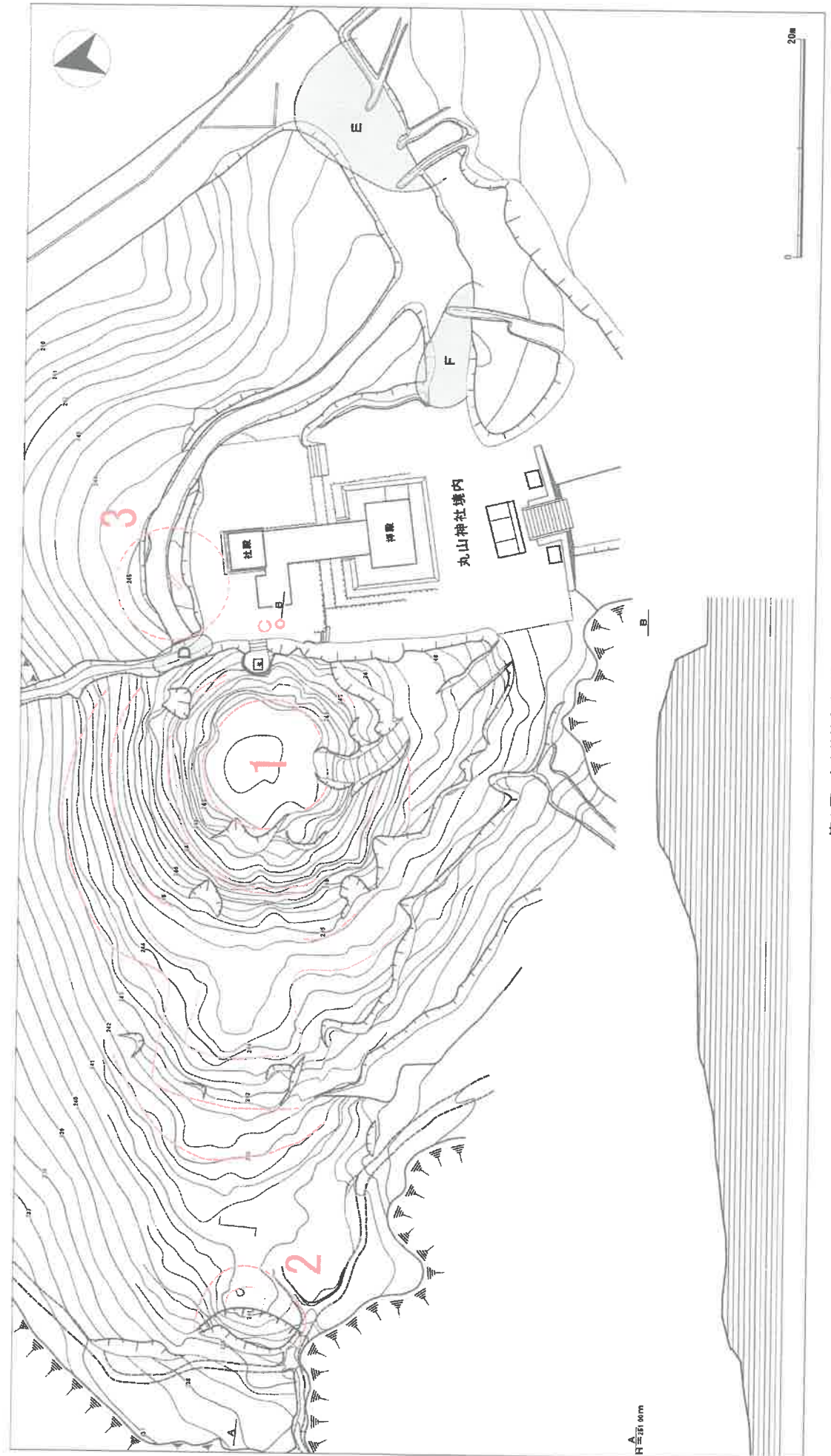
丸山神社古墳群は、東広島市西条町助実405番地に所在する。丘陵先端部に3基の古墳が築造されており、前方後円墳1基、円墳2基で構成される。ほぼ東西に軸をもつ低丘陵先端部に立地し、標高は約240mである。周辺の水田からは約20mあり、東広島市中心部など、西条盆地(狭義)北東部一帯を見渡すことができる。

第1号古墳は前方後円墳で、丘陵の中央部に構築されており、古墳群の盟主的存在である。第2号古墳は第1号古墳前方部西側に、第3号古墳は第1号古墳後円部東側に隣接して構築されている。第1号古墳は、全長約42.9m、後円部直径約33.0m、高さ6.5m、前方部長さ16.0m、幅4.2m、高さ約1.8mの規模を有する。隣接地数ヶ所で壺形埴輪が採集されており、後円部埴輪を壺形埴輪が巡っていると想定される。壺形埴輪は、口縁部～胴部の形態や底部が円筒埴輪の基部と同じように厚手の円筒状を呈することなどから、古墳時代前期末～中期前半(5世紀初頭前後)に位置づけられる。内部主体など詳細は不明であるが、墳形や規模などから西条盆地を代表する首長墓の一つである。

第2号古墳は西半部がかなり削平されているが、直径約10m、高さ約2mの円墳と考えられる。第3号古墳は直径約10.2m、高さ約1mの円墳である。1991年9月、台風19号による檜倒木に伴って内部主体の箱式石棺が露出し、古墳であることが確認された。東広島市教育委員会による緊急調査が実施され、調査後、石棺を元の位置に戻して埋め戻し、旧状に復した。副葬品は確認されなかった。

西条盆地、白市盆地を統べる古墳時代前期の首長墓はいずれも白市盆地(高屋地区)に位置し、オケ迫第1号古墳、原の谷古墳、白鳥古墳の順で築造されたと考えられる。中期には一転して西条盆地を中心に首長墓が築造され、丸山神社第1号古墳、スクモ塚第1号古墳、三ッ城第1号古墳の順で築造されたと考えられる。三ッ城第1号古墳は、西条盆地・白市盆地のみならず、安芸地方の広い範囲を統括した首長墓と評価されている。丸山神社古墳は西条盆地側に政治的中心が移行したことを示す最初の首長墓と考えられる。同時期に白市盆地では千人塚古墳が構築されているが、円墳であり、規模の点でも丸山神社第1号古墳に及ばない。

西条盆地側への政治的中心の移動の背景は不明であるが、古代には国分寺、国分寺など安芸国の中枢施設が西条盆地に設置されることから見て、古墳時代中期以降、西条盆地が本地域の政治的中心地として機能したと想定できる。丸山神社古墳群は三原・竹原方面からの東西道、安芸津方面に通じる南北道などの交通の要地に立地していると想定され、西条盆地側に政治的中心が移ることとの関連があるのかもしれない。丸山神社古墳群は本地域における古墳時代を考えるうえできわめて重要な遺跡といえる。



第1図 丸山神社古墳群測量図
(赤色破線は古墳の見かけの平坦面や埴輪裾などを示している。C・Dは壺形埴輪採集地点、E・Fは遺物(新石器器ほか)採集地点である。)